夕刊 磐城新聞
一月九日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇・八・五六五五番

「西郷草履の會」に入會を望む〔中〕

佐久間重臣

殘りの衣服に就ては我々して言れてしまふそうである。の最後の便りとして居る、製品に輸入品の大宗であつた爲輸入の斷たれた會ひ市場に氾濫して居た製品が今では純綿などゝ稱し貴重品になつて漸く勿れ木綿の久留米絣一疋百四十圓と云ふ噂の樣な値段になつて來たのである。

磐中及平商に於てはこの冬より生徒の內冬服を持たぬ者に夏服でも良いと云ひことになり國防色の服でなければならないなどゝ云はず黑でも何でも宜敷いと云ふことになつたような結構のことであると思ふ。

生徒が國防色一色になど劃一制にせず何でもよろしいと云ふのが國策に添ふ所以であらう一般人の我々だ有るものを着續けて行かねはならないと思ふ。

前置が永くなつて來たが最後に履物である、履物の內皮靴の皮革は大切なる軍需品である、これは最も大切に使用せねばならないが成長する小供等には何うも適當しないそれで現在ズックが用ひられて居たこれが又綿製品がなくなり、スフ製品となり、そもス、フゴム等の重要物資を使ふのであり追々に品不足になつて來た平市の店に着荷すれは一萬足のズックも一日に

そこで過般來田町の友人猪狩四郎氏との談話にてこれは昔の樣に藁草履にしなければならないと共鳴するところあり草履をはくの會を造つて會員を募ることになつた。

紀元二千六百年よりこれを一般に廣めるに就いて猪狩氏は已に二千六百足の草履を用意したと云ふその熱心さには驚くべきで全く敬服の至りである。こう云ふ人のあることは平市の誇である。

云ふ迄もなく草履の原料は無盡藏とも云ふべき藁である、雨天の時は困るが何時でも用ひられるそしてズックの樣に大小は問題でないこれを履く時は柔かで頭に働かす割合に暖かである。

會員はこれを家庭で用ひるのは勿論小學生、中學生には是非この草履を用ふる樣にしたい、藁草履の內前方に兎の耳の樣にちゝの有るものがある名付けて兎の耳草履とも所に依りてはツノ草履とも云ふし詰び草履アシタカ草履ともいふらしい

皇紀二千六百年

諸根文彦

○國祚の延々二千六百年　皇國に生れし幸をし思ふも
○國擧げて聖戰すでに二有年　今ぞ輝く日の本のくに
○戰線に再び新春を迎ふてふ　友の便りの元氣なるかな
○長期戰勝つて兜の緒をしめつ　戰ひ迎ふ戰捷の新春
○日の本の國威みち輝り今こゝに　迎ふる新春ぞ二千六百

1月10日

△徵兵令公布（明治六）△大隈侯薨去（大正一一）△厚生省設置（昭和一三）△中華民國政府聯合委員會各國の援蔣借欵否認を聲明（同一三）

つぶやき

○

醫者は待つことを知る
患者は急いで明日を眺めんとして木に攀ぢのぼるが如きことをする
ソロー

講談 振袖横町 (113)

須藤鐘一　荻原萬象畫

浪人召抱へ（十一）

「して其方は何故またその夫の殺されたと云ふ場所に參つて斯樣に致して居るのか？」

「はい、私の夫は正當の家業を致して居る者ではございません。と云ふて、盜人ではないのでございますが所謂渡世人、博奕打なのでございました。夫が生きて居りました時分には何とも申しませんで時々は遊びに參りまして、同じ渡世人の權次と申します者が、お前の亭主の松次には十五兩の貸がある。金を返せなければ俺の云ふことを聞け？などゝ、また夫が殺されて十日とはならないのに、嫌な事ばかりを申しますので、今夜も又來はせぬかと思ひまして、夫の殺されました所で夜を明かさうかと存じまして――」

「渡世人などと申すは義理堅い者と聞き及ぶが、左樣な不埒な奴もゐるか――？聞けば聞くほど氣の毒なのは其方の身の上、袖すり合ふも多少の縁、助力致して遣はさう――。今宵一夜のこと故、今より家に戻つて休むがよい、明日は、其方の許まで訪ねて行き、權次とやらが參つたならば、懇々と意見を致してやらう――案じるには及ばぬ。して、其方の住居は何處なのぢや」

「はい、下谷松坂町でございます――。下谷稻荷より見えまする大銀杏を見當にお出で下さりまして、松次の宅とお聞き下さいますれば直きわかりまするが――」

「左樣か、案じることはない、必ず明日は訪ねてつかはす――」

「なれど、あなたさまのやうな御立派なお武家樣に御運びを願いましては――」

「心遣ひ無用。早く戻るがよいぞ！」

「はい、ではお言葉に甘へまして宜敷お願ひ仕ります――」

有難涙に暮れながら、親娘の者は戻つて行く。

源次郎は、金吾が爲したと思はれる罪惡の爲め、慘めな母娘の有樣を眼前に見て、せめて罪はろぼしの爲彼等兩人を救ひ出さねばならぬ――と決心をした。

翌日、所用を濟まして後家老曾根權太夫に一日のお暇を願ひ、尙、一頭の馬を借受け、馬乘袴にて、神田一ッ橋の柳澤邸を出た坪井源次郎、馬を急がせて、松葉町の松次の家へと訪ねて來た。

この時分の松葉町は、まだ田舍と云つた趣があつた源次郎が馬より下りて、彼ら家の前に近附くと、中から表障子を明けたのは昨夜の女。

洗ひ髮を簡單にまとめてあるだけではあるが、垢拔けのした姿であつた。

「あつ！これは昨夜のお武家さま、本當に、本當に、お出下さいまして……」

「武士に二言はない！」

「恐れ入りましてございます。穢いところではございますが、どうぞお入り下さいませ。」

「許せよ……」

馬を前の立木に繫ぎ、づいと中に入つた。

「早速ぢやが內儀、權次とやらが居らば迎へに行つて貰ひたいがのう――」

「ハイ、畏まりました。」今

と言ひ、表に出て遊んでゐた娘に何か云ひ付けると、娘はまろぶが如く走り出して行つた。

間もなく

「なに母ちやんが俺に來て吳れつと、本當に云つたのかい！そうかい、お梅坊に後で何かいゝもの買つてやるぞ、お前はいゝ子だ、なあ！」

拈華微笑

◇菜つ葉にならず知らす、物ごとに掛めごれ不要か
◇あき振りチョマよチョマよと寺小屋に壁を鳴らす平職紹
◇沈默裡に平工業學校　鮮かな將　赤井嵐の割合に
◇けふから再た師走。虎を追つて狼に迫られた形
◇案外温い大方の懷ろ。變な年だ餅を言ふ權次の發が衣の方　頻りに迎へるお梅にも世から聞えた。

室內用竹レール創始
高尙優美 無音低廉 防中防腐製品
國華竹レール
一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ
實用新案 第二一四二八八號 一九三六四七
京都府園部町 國華竹レール 第一工場
仝綾部 仝第二工場
仝宮津町 仝第三工場
東北六縣一手特約店
合資會社 平銅鐵機械商會 代表者 井尻七三郎
國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ望ム
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

國はニッポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社（電三一八・三一六）
タヒ 甘鯛　エビ マナ鰹　白魚 帆立貝柱　冷カツノコ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目 ト印 魚問屋 電三一〇番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

御婚禮 御法事
御會食 御宴會
尙は季節料理
平市田町 電話一七一番
さかき家 料理部

男女車掌募集（三名）
1、年齡十六オヨリ十九オマデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社 平四倉乘合自働車 平四丁目 電五九四

只今入荷
金鷄印 天然バター
金鷄ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
1/2ポンド　1/4ポンド詰
西村屋藥局 電話3番

移轉開業（九月二十日ヨリ）
耳鼻咽喉科專門 增田醫院
平市紺屋町（吉田眼科前） 電話六五一番
小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全快上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知旁々御挨拶申上候
敬白 增田 之

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
洋和結髮 オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術 電話 六七八營業所 五二五自宅
平市驛前 水野化粧院

每度有難う御座います。
パン食普及の秋！
自慢の食パン 一斤十六錢
榮養パン 十五錢 バターロール二錢五厘
甘コッペ 十錢 チョコレートロール五錢
クリームロール五錢 野菜サラダパン、カレーパン、カツパン
ベーカリー 東京堂 平市樞槌小路（電話一〇八番）

りん病こしけ 專門藥 一週間分參圓（黑）五圓（赤）
岩里別府淋藥
痛みある病。熱ある病 岩里別府散 七包入 五十錢 十五包入 壹圓
製藥本舖 別府市 岩里天然堂
代理店 阿康藥局 平市古鍛治町一〇 電話四十四番 振替東京三〇〇六五番

ま冬の味覺
とんかつ專門の店
かの家
與亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
（美）マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町一二

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物 みやま羊羹（名產梨かん）
―赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產！―
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種 二本 十錢
製造販賣元 小川郷驛前 平屋賣店

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（警察署通り角）（舊診療所 平市六丁目）
外科一般 內臟外科 性病科 肛門病科
木村外科醫院 木村淳 電話三〇九
◎入院應需

實株は買ツテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
●目下投資時代
投資指針
富岡株式店 平市四丁目三十三 電話一九一

四月からの開設確實
全く超特急で埒あけた
市の縣立工業校問題

何とかしてこの春から開校して欲しい!と地方民熱願の中心となつて居た平市の縣立工業學校設置促進に關し青沼市長、野崎、蓮沼正副議長、市選出關內縣議の一行は昨八日出縣橋本知事內藤總務、和田學務兩部長等に會見、學科目變更其他に就て承認を得、茲に愈よ來る四月からの開校が確實視さるるに至つた。本格に提唱以來僅かに一年足らず全く稀有の急速解決で興亞するの新春劈頭地元平市に朗快な歡聲が揚つた

過ぐる通常縣會に於ける緊急建議案として滿場一致可決された同校開設は寄附金五十三萬圓中確定四十一萬圓、殘十二萬圓も略見透しが附いて居り寄附採納の手續き終了後近く急施臨時縣參事會に提案される筈である

採鑛冶金と電氣
機械科も近く併置

最初は採鑛冶金、電氣、機械の三科を置く計劃であつたが、機械は時局柄教授者材の準備に相當の時日を要するばかりでなく所要經費の關係もあり、差當り削除の二科として開設し、漸を追ふて全面的の整備を期する筈で尚ほ募集人員は採鑛冶金三十名、電氣四十名で高等小學卒業を入學資格とすると

當局の熱心から
此の機運は生る
今日を喜ぶ某有志の述懷

平工業學校問題の異常な埒あき振りを喜んで某有志は語る

『多年の懸案』なる言葉が殆ど一般の常識となつて居る位、物ごとはさう急速に取り運ぶものでなく所謂渠成つて水通じ、春回つて木華開く迄には其れ相應の曲折があり、その實現に可なりの時間を要するが常なのにこの大事業が驚く程の急テンポで今や最終目的に近づきつつあるは地方教育界の爲に誠に喜ばしい事である。前觸ればかりで一寸も捗どらないのは見苦しいものであるが、曩の平商の定員增加と云ひ、今度の事と云ひ殆ど何ら掛け聲の期間が無く此所に漕ぎつけたのは關係當局の熱心の賜で衷心感謝に堪へない。

煙草耕作協議
明後日平窪信組で

市では昨年葉煙草を三十名により二町四反歩耕作好成績を收めたので今年はこれを一躍四町歩に、人員も十名を增加耕作することゝなり十一日午後一時から平窪信用組合に郡專平出張所宮森書記、宗像巡回教師を招き今後の耕作方針等を協議

平署寒稽古
一般參加歡迎

平署では昨八日から新武德殿に武道寒稽古を始め、十日間毎日午後三時から四時半まで一般の參加を歡迎すると

立川檢事あす着任

富山地方檢事に榮轉の富澤英雄氏後任平區裁支部檢事立川俊夫氏は明十日午後三時十七分で着任する

田人村葬

田人村出身緣川寛也伍長の村葬は來る十四日午後零時半から同村小學校に於て執行すると

なほ六百名不足
小學卒業兒狩出しに
平職業紹介所大車輪

平職業紹介所に於ける今春小學卒業兒童の斡旋割當數管內、外合計千八百名に對しさきに調べた管內五十五校を經て求職希望男女約千二百名、なほ六百名內外の不足で卒業期の近づいた今日急速補給の必要があり今九日午後一時から平第一小學校に管內各小學校の職業指導主任者を集め當面の狩り出し方法を中心に左記諸件を打合せ協議した

△打合事項=本年度小卒求人求職(供出)割當の方針について、供出割當の概要、求人割當、就職希望者指導、注意事項△談話題=女兒供出に關する良方案、兒童職業指導上の意見

更に同所では卒業期を前にして昨臘末以來軍需關係の會社工場を最先に、引續き卒業兒の銓衡中であるが一二月中に於ける各種銓衡中地方關係は左の如く合格者は從來のやうに卒業前に飛び出し後悔するが如きことなきやう卒業を待つて職業戰線へ送り出すことに學校當局とも連絡して銘給の圓滑をはかる方針である(カッコ內試驗場)

地方會社採用試驗日割

△一月十四日磐城炭礦入山採炭(同礦業所)△同十八日(綴淺野會館)△同十九日古河炭礦好間礦業所(好間小學校)△同日曹平礦業所(小田礦業所)△同日曹小田礦業所(同)△同二十日日曹福島礦業所(赤井第二校)△同常磐礦業所(同第一校)△同赤井礦業所(同)△同二十四日大日本勿來礦(勿來礦)△二十五日日本水素小名濱工場(同工場)△二十六日品川白煉瓦湯本工場(湯本校)△二十七日磐城セメント四倉工場(同工場)△二十九日吳羽紡績錦工場(同工場)

滿洲現地開拓視察報告〔十三〕
福島縣代表　志賀ナカ

施設の整備、規律訓練の徹底等全く豫想以上の直感は更に西海一幸氏の講演によつて一層これを深められその正認識を與へられ、いよ〳〵私とも慰問使の最も喜んでゐた各縣各々懇談の時間に入つたが惜しいことに全員揃つて面談出來ず、僅か三四十分の短時間に氣ばかり急つて言葉が出來ない『どうしました』『元氣です』『元氣なところをおうちへお知らせしませう』とを面談した二十五名の方の住所を書きとつた『手紙がほしいんです、慰問文が來ないんです』といぢらしい訴へが出る。『寮母さんが居て凡てに都合がいゝでせう』と聞へば『ない方がよい』と意外な言葉、きけば『若い寮母さんは感情に走る』との事でこれは眞の叫びらしい。洗濯、繕ひ、身の上相談、殊に体のすぐれぬ場合など、親身に世話もし看護も出來る人だつたら寧ろ教育のある理でたして行く人よりも、田舍者でも情でおさへ經驗で通す人、勿論兼備して、子供を育てあげた、現在家庭生活に心配のない、四十以上位だつたら此の上もないかと思はれた。『今にいゝお嫁さんをお世話しますよ、初一念を貫徹なさるやうに』といへば『やります』と力强い言葉に目頭が熱くなる、與へられた時間も束の間冷厳な聞ゆる『集れ』の號令につきない名殘りを惜しみながら、植民歌の合唱を最後に夕闇迫る頃、自動車にすがるやうに別れを惜しむ少年義勇軍と別れて訓練所を後にす(西海氏其の他の御話大要)

——現地訓練所としては餘りに內地化してゐる幹部養成と二つになつてゐて、現員二一〇〇名、十一月には六〇〇〇名になる、月額十七圓で食事其の他の經費には心配なく、小遣は一錢も要らない。昭和九年以來一般から募集してゐるが、なか〳〵訓練がむづかしい滿洲の事情をよく知らしめ土地を整理させ、そして理想に向はせるのだが、北滿では訓練がむづかしいのでこゝに地を相した。どんな困苦欠乏にも耐へ得る精神の養成で、慣れるまでは苦しい、優秀なものがあれば醫師にでも經理にでもすん〳〵特異の教育をする、何しろまだ若い事故、家鄕を戀しがつてホームシックにかゝり易いのも無理はない だから慰問文、慰問袋と一寸したものは想像以上に喜ぶ、激勵文も非常に此の時代のものには一層感じさせる、どうぞ出來得るだけ澤山送つてもらひたい

(此項未完)

人檜（投稿歡迎）

歌壇の振興を圖れ

◇戰は未だ終らずと吾れ信ず大いなるいくさは更におこらむ　西村要吉

輝しき皇紀二千六百年を迎へ銃後の吾々は更に緊張して非常時を深く意識して此の聖戰にあたつてゆかなくちやならない。長期抗戰なのだ。挫折してはいけない『聖戰へ民一億の体あたり』力の限り戰ふべきだ。

◇戰爭を契機として短歌の上に新しい世界が繰りひろげられた。そして異常なる緊張ぶりをみせてゐる一月七日紙上で佐藤氏の言ひし如く『日本民族のかくれてゐた新しい息吹だ』と思ふ。

吾々の短歌も亦長期抗戰でなければならない。如何なる困難に遭遇するもひるまず短歌報國の意氣で進むべきだ。

◇此の大きい世に何故磐城歌壇が沈滯してをるのか衰微してをるのか、沈滯せる後の飛躍はともあれ磐城歌人連の奮起を望んで止まない。此の際磐城新聞あたりに活氣ある歌壇を設けてほしい。

◇磐城歌壇については あまり知つてゐないけれど在りし日の野麥は編輯ぶりもよく活氣あるものだつたと思つてゐる。先輩諸氏が知らぬ顏の半兵衛をきめこんで退嬰してる。吾々後輩をリードする力を失つてをるのか。奮起をのぞむ。(石川　徹)

國債消化高は?
力强い這般の實相を
市役所で調査中

一昨々年秋第一回賣出し以來、平局に於ける國債その他事變下各種債券の消化額は昨年中既に五十萬圓を突破し、國民貯蓄に對する市民の熱意を示しつゝ、之による各自の貯蓄增加は極めて莫大なるものあるべしと觀られてゐるが、市役所では其筋の照會により貯蓄組合等を中心とする公債購入高を調査中で各方面から集る回答により計數の整理が濟み次第、這般の力强い實相が而も正確な數字によつて判明する筈である

今日から舊師走
吹く風も一入冷く
漁農村の決濟氣分本格

やつと松がとれた處へ息もつかせず今九日から舊の師走に入つた。地方の農山漁村では勿論、稀には市街地の一部ですら新よりも却て節季正月の意識が濃厚な農慣故俗から極めて短時日の間に二つの行事が重なり、時局下乍ら近親間の贈答や取引上の決濟に當面する慌しさもまた一通りではない 即ち大晦日が來月七日、八日元日と云ふわけで、思ひなしか今師走入りの風の冷たさ、晴れてこそ居れ今迄に無い眞冬情調である

あすは暖か?
風邪つ引ご用心

屋外水道もとう〳〵凍つたけさの冷ねは愈よ『嚴寒到來』を思はせ、遙かの連山にはあちこち白いものが見ね、吹きまくる空つ風に流石の平つ子も思はずちゞみ上つた、しかしこれも一時的で小名濱測候所の卦には

——今晚も相當冷ねるでせうがあすは風も北から南に變つて一寸暖かくなるでせう

と出たと云ふ

萬引。

澤渡村上市萱日雇業高木錠太(五四)は八日入營兵見送りの途中市內三丁目エビスヤ洋品店から毛糸靴下を萬引して平署に檢擧

「興亞のお年玉」を
前線の兵隊さんへ
市で正月慰問袋募集

市では今月前線の兵隊さんに贈る慰問袋を『興亞のお年玉』として例により愛婦國婦、青年團、聯合分會等の手により來る二十三日から募集することゝなり左の如く割當てゝ九日夫々關係方面に通知、小學兒童の慰問文もこれに入れて可憐な童心により兵隊さんを慰めるべく市內四小學校に作製方を依賴した

第一—第三分會各二三〇個、第四、五分會各八八個

寄附

小名濱町小野清明さんは正月の雜費を節約町國防後援會に十圓寄附

實業學校昇格可決
きのふの小名濱町會

小名濱町では昨八日午後一時から開いた町會で、去月中旬總工費六萬八千圓建坪四百七十三坪二階建の第二尋常小學校が上棟式直前暴風のため倒壞した損害二萬圓を起債により急速着工、四月の新學期まで間に合せる外

小學校內に併置の實業學校女子部を新學期から實科高女に昇格して本科(四ヶ年)二百名、補習科(一ヶ年)五十名を收容、また同町古港の靑年學校會による町立成章女學校を實業學校令職業學校規定によるものに昇格、本科(二ヶ年)百名、專修科(一ヶ年)五十名收容の二縣案を可決、文部省に認可申請打合せのため小野町長は九日出縣した

平市慶弔錄

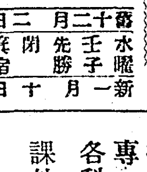
△出生　中平窪字布川四六福田勝榮氏長女初江さん

聞仙臺山田君空路之東都
珠雲　小野務平

國產飛機儔匹無
偉容今日上歸途
雲間指顧平陽去
千里悠揚向帝都

十日（小名濱測候所調査）

滿潮　前五、三五　後四、〇〇
干潮　前一〇、四五　後一一、一五



新暦一月十日　水曜
舊十二月二日　壬子　先勝　閉　箕宿

▲一白　其の職に忠實なれば意外の引立てに逢ふべし▲二黑　有頂天にならぬやう足許を注意して進べし▲三碧　手落の生じ易き日契約事又取引上尤も注意▲四綠　不言實行の根氣足らざれば災に見舞はる▲五黃　進むに歩をみださぬ樣に注意あれば吉日たり▲六白　不安の位置にありても誠意あれば引立らる▲七赤　文書言語なつかしみ行ひをくづさぬ樣注意すべし▲八白　虛より實に進み來る倦くまで奮鬪すべき日▲九紫　外交には氣にくはぬことのみ突發し易き日

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晚　北西の風晴後曇小雨
明日　北から南の風晴後曇

廣告

平驛前
旅館　とらや
電話六四八

事務用ソロバン
優勝印　事務用ソロバン(播州產)
神國式　事務用ソロバン(雲州產)
共にソロバン中の一流品で御座います、仕上りがガッチリして而もお使ひ心地頗る宜しくあります尙、ソロバンでしたら大小、とり〴〵小學生用多種入荷いたして居ります
平市才士小路
代理店　魁文堂
電話313番

田毎の
志るこ
ぞうに
電話六三二番

昭和十五年度　入學生募集
本　科…(修業年限二ヶ年)100名
技藝科…(修業年限二ヶ年)100名
專攻科…(修業年限一ヶ年)五0名
各科二年…補欠入學生　若干名
課外教授　タイプライター、琴、生花、ピアノ　洋裁(タイプライター修得者は本校に於て就職を斡旋致します)
文部大臣認可　平陽女學校

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
(入院隨時)
醫學博士　內木宗八
內木外科醫院

平市田町　(電話五三一番)
內科　外科　耳鼻咽喉科　小兒科　花柳病科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹烱雄
(看護婦至急募集)
高久病院

產婦人科專門
平市南町
(入院隨時)
根本醫院
電話三四番

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
醫學博士　高柳博明
高柳醫院
平驛前　電三三六

純綿利用加工時代!
染め物は
質實さ技術の優秀を誇る
迅速　叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目
電話五五八番